

SYGN HOUSE BIKE RADAR SH001R

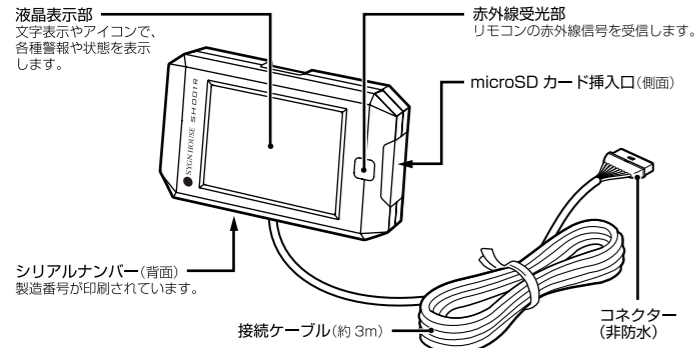
取付説明書・保証書

ご使用前に <http://www.bolt.co.jp> で公開されている取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」および「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。取り付け作業は販売店またはプロショップにご依頼ください。

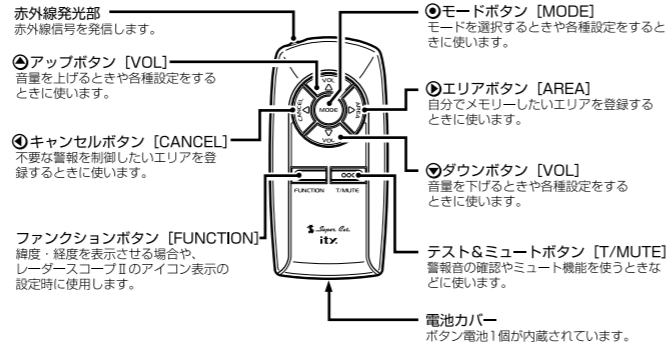
■ 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

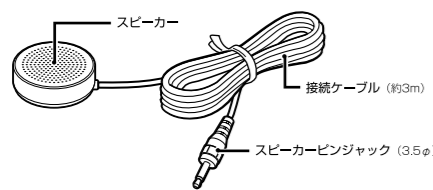
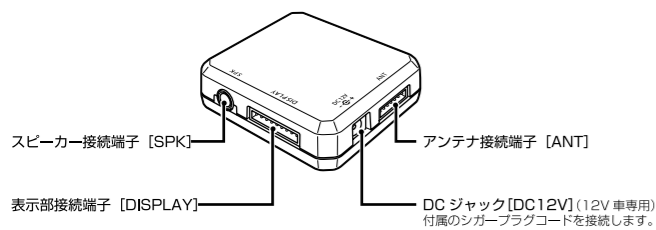
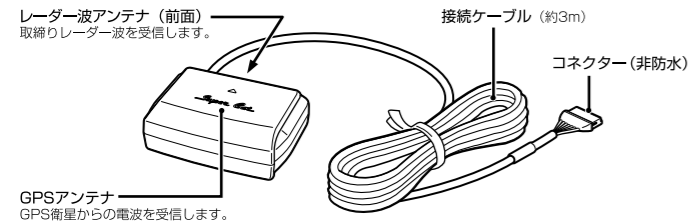
表示部 (防滴)



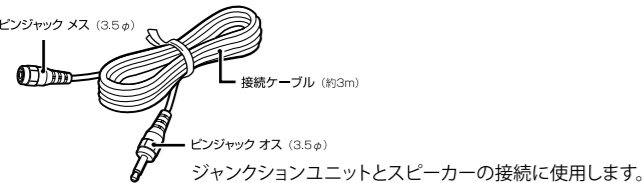
リモコン (非防水)



アンテナ (防滴)



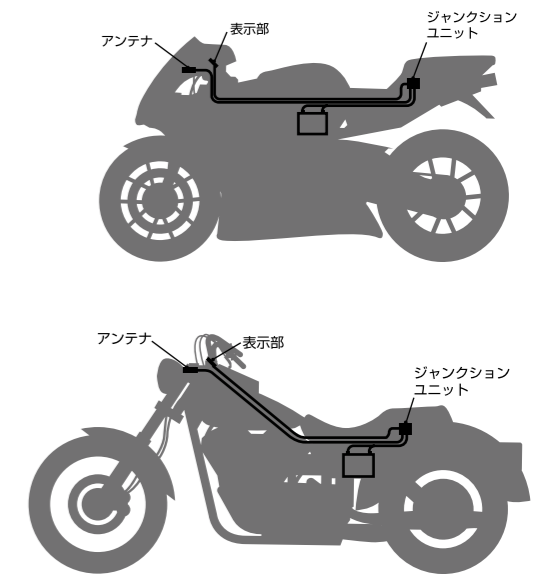
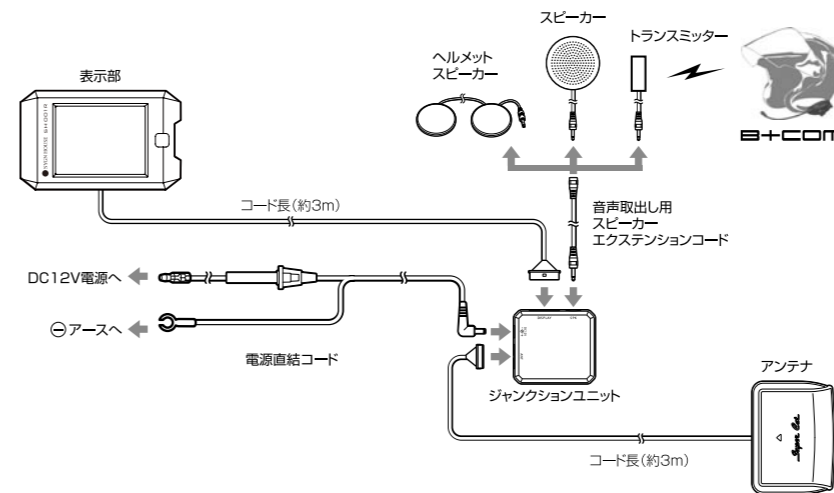
スピーカーエクステンションコード (非防水)



- ボールジョイント
- ダッシュボードベース
- ブラケット (表示部用)
- ダッシュボード取付ステー (表示部用)
- リモコンホルダー
- 電源コード (非防水)
- ブラケット固定ネジ X2 本
- マジックテープ X1 枚
- 本説明書 (保証書)
- 粘着マット X1 枚
表示部直付け用 X1 枚
ジャンクションユニット用 X1 枚
アンテナ用 X1 枚
スピーカー用 X1 枚
ダッシュボード取付ステー用 X1 枚
リモコンホルダー用 X1 枚
- 液晶保護フィルム X1 枚

接続図・車体取付け位置 (例)

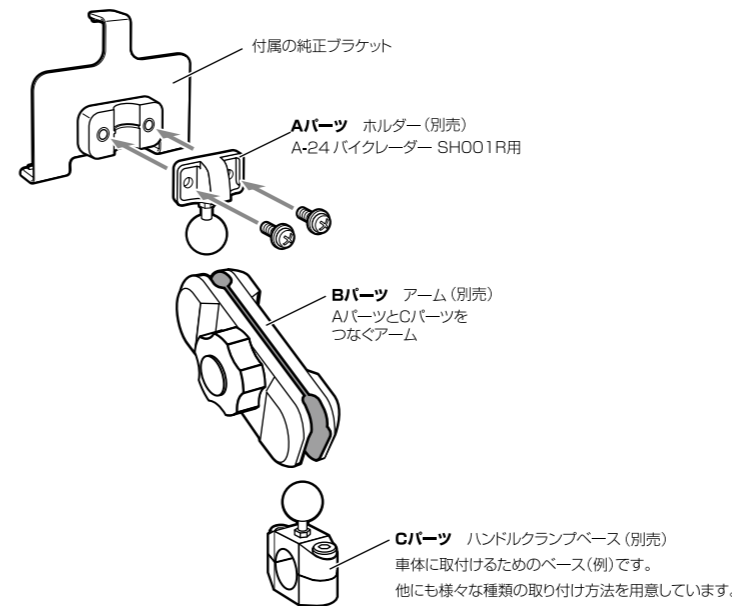
- 1 表示部、アンテナ、スピーカーのコネクタを、ジャンクションユニットの接続端子に差し込む
- 2 ケーブルをきれいに配線する



- 接続は確実に行ってください。外れたりケーブルが運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。
- 接続ケーブルの接続または取り外しをする場合は、電源コードを取り外した状態で行ってください。
- ジャンクションユニットは非防水です。絶対に雨水等が掛らない場所へ設置してください。
- 表示部は防滴仕様です。画面部分に水等が溜まらないよう、傾斜角 60 度以上としてできるだけ垂直にしてください。

表示部の取り付け 見やすい場所に取り付けてください。

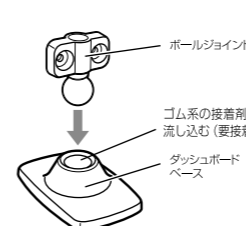
ご注意！表示部は脱落しないよう確実な取付処理を行って下さい。



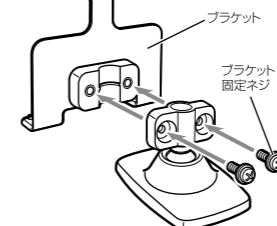
詳しくは、<http://www.bolt.co.jp> にアクセスし SygnHouse マウントシステムをご覧ください。

1 ボールジョイントとダッシュボードベースを取り付ける

ダッシュボードベースは、たて・よこどちらでも取り付けが可能です。



2 ボールジョイントにブラケットを取り付ける

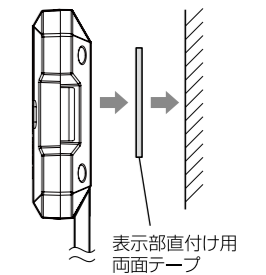


1 付属の両面テープで、表示部を貼り付ける

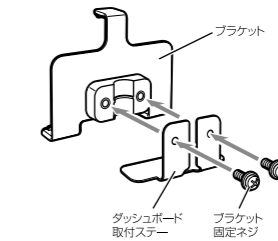
イラストを参考に、見やすい場所に貼り付けてください。

※貼り付ける際、必ず脱脂処理を行ってください。

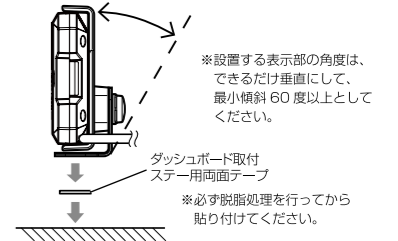
※設置する表示部の角度は、できるだけ垂直にして、最小傾斜 60 度以上としてください。



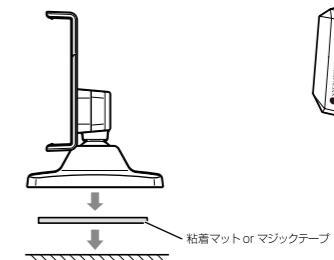
1 ダッシュボード取付ステーにブラケットを取り付ける



2 表示部をブラケットに取り付け、付属の両面テープで見やすく安定した場所に貼り付ける



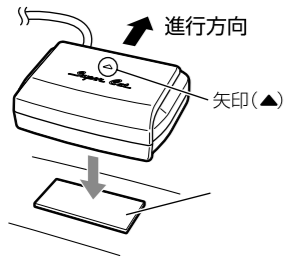
3 ダッシュボードベースを粘着マット or マジックテープで見やすく安定した場所に取り付ける



4 表示部をブラケットに取り付ける

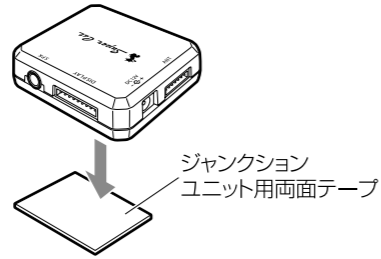


各種機器の取り付け



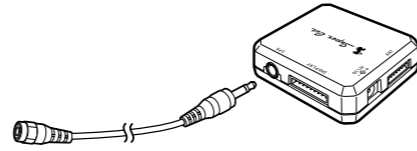
1 付属の両面テープで貼り付け、アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように、角度を調整する

- ・GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。
- ・GPSアンテナの上やレーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこまないような場所に取り付けてください。
- ・あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落とし、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱め、脱落する恐れがあります。
- ・道路に対して水平に、また矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように、角度を調整してください。
※必ず底面を下にして設置してください。



1 付属の両面テープで、ジャンクションユニットを貼り付ける

- ・ジャンクションユニットは、非防水です。水が掛ったり、熱風が当たる場所には絶対に取付および設置しないでください。
- また、走行時の路面からの水はねや駐車時の浸水および湿気等にも注意して設置してください。



1 ジャンクションユニットからスピーカーエクステンションコードで配線を延長することで、接続部を扱いやすい場所に移動することができます。

- ・付属のコードで長さが足りない場合は、電気店などで必要な長さのコードをご購入ください。

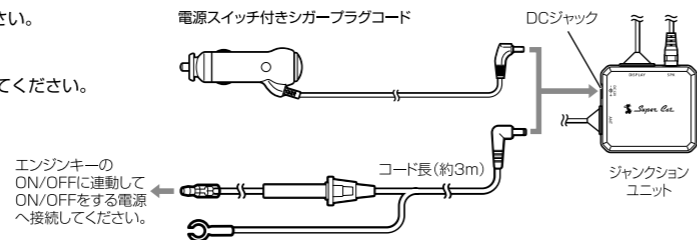
電源について

※必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする電源を使用してください。バッテリーに直接配線すると、バッテリーに負担を与えます(過放電)。

作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

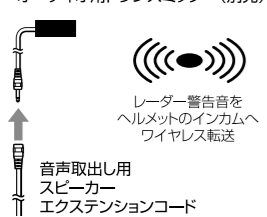
必ず表示部、アンテナ、スピーカーのケーブルをジャンクションユニットに接続したあとで、電源コードを接続してください。

シガーソケットが設置されている車両には、簡易的にシガープラグコードを使用することも可能です。ただし、シガープラグ部は防水ではありませんので、絶対に雨水等かからないように設置もしくは使用してください。



バイクレーターの音声を聞く方法

オーディオ用トランスミッター(別売)



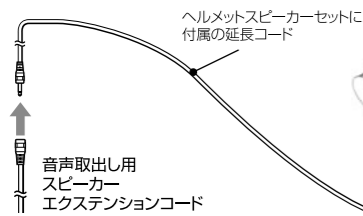
レーダー警告音をヘルメットのインカムへワイヤレス転送



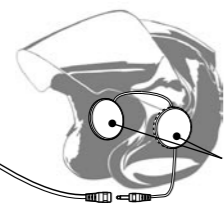
ヘルメットに装着したB+COM

サインハウス B+COM と BTAG-S オーディオ再生用 Bluetooth トランスミッターを使用すると、ワイヤレスでヘルメットに内蔵したスピーカーから警報音を聴くことができます。B+COM では、携帯電話の通話、音楽を楽しむことができます。ペアで使用するとタンデムやペアライダーとの会話も楽しめます。

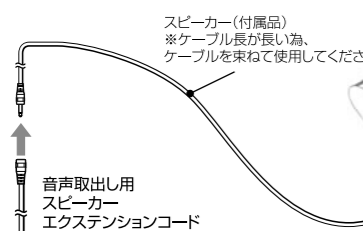
詳しくは、<http://www.bolt.co.jp> にアクセスし B+COM インカムをご覧ください。



ヘルメットスピーカーセットに付属の延長コード



ヘルメットスピーカーセット(別売)

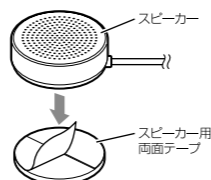


スピーカー(付属品) ※ケーブル長が長い為、ケーブルを束ねて使用してください。

音声取出し用スピーカーエクステンションコード

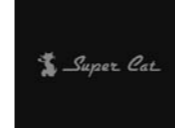
ヘルメットのイヤースペースへ。 ※イヤースペースが狭いヘルメットには使用できません。

1 付属の両面テープでスピーカーを貼り付ける



基本的な使い方

最大音量からさらに▲を押すと「プッ」と鳴ります。



【オープニング表示】

電源が入ると「ビッピ」と音が鳴りオープニング表示をします。



【待受画面】

「GPS 測位機能」が働き、GPSの電波を受信すると、「ボーン測位しました」と鳴り待受画面が表示されます。

・マナーモードのときは、音は鳴らずにマナーモード表示を約2秒間表示します。



1 音量を調節する

リモコンの▲アップ / ▼ダウンボタンで調節できます。「ビッ」という確認音を聞きながら調節します。



【マナーモード表示】

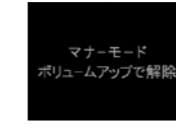
音量「0」からさらに▼を押すと「マナーモード」になります。

解除するときは▲を押します。

マナーモードについて

マナーモードにすると、マナーモード表示を約2秒間したあと液晶表示は消え、音も鳴りません。

●マナーモードは、▲を押すと解除でき、他のボタンを押すとマナーモード表示となります。



【マナーモード表示】

音量「0」からさらに▼を押すと「マナーモード」になります。解除するときは▲を押します。

GPS 測位機能について

通常、測位するまで、10秒から3分程かかりますが、購入直後や、ビル谷間など視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遠へい物のない視界の良い場所へ移動し、車両を停車して行ってください。

取付や使用方法の詳細は <http://www.bolt.co.jp> にアクセスしてください。



オールオンモード

【オールオンモード】

2 すべての機能を使ってみる

・オールオンモードを選ぶ
リモコンのモードボタンを押して、オールオンモードを選択します。
※オールオンモードは、すべての機能がオン状態になります。



GPSターゲットに近づくとき...

「ボーン 500m先ループコイルです」



デジタル無線を受信するとき...

「ピロロロピロロロ デジタル無線です」



ステルス波を受信するとき...

「ピロピロピロ...ステルスです」